

昭和十七年御下付案

国立公文書館	
分類	
配架番号	2 A
	15-6
	Ⓔ A122

昭和十七年

枢密院御下付案目次

件名番号

件名

下付

一 裁判所構成法戦時特例案帝国議会へ提出ノ件

一月一七日
二月二日訂正

二 会計法戦時特例案帝国議会へ提出ノ件

一月一七日

三 大東亜戦争ノ呼称ヲ定メタルニ伴フ各法律中改正
法律案帝国議会へ提出ノ件

〃

四 造船事務ニ関スル所管等ノ戦時特例ニ関スル件

一月二日
一月二日訂正

五 商船専門学校ノ入学資格ノ特例ニ関スル件

一月二日

六 高等学校ノ生徒定数ノ臨時特例ニ関スル件

三月二三日

七 陸軍司政官及海軍司政官特別任用令

二月二五日

八 大正二年勅令第二百六十二号任用分限又ハ官等
ノ初叙陞叙ノ規定ヲ適用セサル文官ニ関スル件

〃

中改正ノ件

九 昭和十六年勅令第四百十八号奏任ノ商工省工務

官ノ特別任用ニ関スル件中改正ノ件	二月 二三日
一〇 大正二年勅令第百六十二号任用分限又ハ官等ノ初叙陞叙ノ規定ヲ適用セサル文官ニ関スル件中改正ノ件	"
一一 特許局官制中改正ノ件	三月 二〇日
一二 陸軍省官制中改正ノ件	三月 一八日
一三 海軍省官制中改正ノ件	"
一四 陸軍法務官及海軍法務官任用令廃止ノ件	"
一五 大蔵省官制中改正ノ件	三月 二〇日
一六 貿易局官制中改正ノ件	"
一七 専売局官制中改正ノ件	"
一八 燃料局官制中改正ノ件	"
一九 日本国コウ工トシ社会主義共和国聯邦間漁業條約ノ效力延長ニ関スル議定書承認ノ件	三月 廿四日
二〇 樺太庁青年学校令	三月 二〇日

二一 昭和十二年勅令第五号南洋庁事務官ノ特別任用ニ関スル件中改正ノ件	三月 二〇日
二二 商工省官制中改正ノ件	五月 二三日
二三 関東海務局海務官及関東海務局海務官補ノ特別任用等ニ関スル件	五月 二日
二四 勲一等家彦王殿下ニ家名ヲ賜ヒ華族ニ列セラルル件	六月 一六日
二五 昭和十七年勅令第六十八号造船事務ニ関スル所管等ノ戦時特例ニ関スル件改正ノ件	七月 八日
二六 金鷄勲章叙賜條例中改正ノ件	七月 二一日
二七 明治二十三年勅令第十一号金鷄勲章ノ等級製式佩用式中改正ノ件	"
二八 支那事变記念章令	九月 五日
二九 陸軍省官制中改正ノ件	九月 二五日
三〇 陸軍兵器行政本部令	"

三一 行政簡素化実施ノ為ニスル内閣所屬部局及職員官制中改正ノ件 九月八日

三二 行政簡素化実施ノ為ニスル統計局官制制定ノ件

三三 行政簡素化実施ノ為ニスル昭和十一年勅令第百三十五号臨時内閣ニ紀元二千六百年祝典事務

局ヲ設置スルノ件廃止ノ件

三四 行政簡素化実施ノ為ニスル高等試験委員及普通試験委員官制中改正ノ件

三五 行政簡素化実施ノ為ニスル司法省官制中改正ノ件

三六 行政簡素化実施ノ為ニスル文部省官制中改正ノ件

三七 奏任ノ文部省教学官ノ特別任用ニ関スル件

三八 行政簡素化実施ノ為ニスル農林省官制中改正ノ件

三九 行政簡素化実施ノ為ニスル商工省官制中改正ノ件

四〇 行政簡素化実施ノ為ニスル逓信省官制中改正ノ件 九月八日

四一 行政簡素化実施ノ為ニスル簡易保険局官制制定ノ件

四二 行政簡素化実施ノ為ニスル鉄道省官制中改正ノ件

四三 鉄道監 鉄道官又ハ鉄道官補ノ任用ニ関スル件

四四 行政簡素化実施ノ為ニスル厚生省官制中改正ノ件

四五 行政簡素化実施ノ為ニスル樞密院官制中改正ノ件 九月 一六日

四六 行政簡素化実施ノ為ニスル大蔵省官制中改正ノ件

四七 行政簡素化実施ノ為ニスル朝鮮總督府中樞院官制中改正ノ件

四八 昭和 辛勅令第 号行政簡素化実施ノ為ニスル警視庁官制外九勅令中改正ノ件施行ノ際ニ於ケル待遇職員ニ関スル件 九月 二二日 九月 二五日訂正

四九	奏任文官特別任用令及昭和十六年勅令第四十七号厚生省勞務官等ノ特別任用ニ関スル件改正ノ件	九月二日
五〇	行政簡素化臨時職員令	"
五一	昭和十三年勅令第五百四十八号農林省物資事務官及物価局物価事務官等ノ特別任用ニ関スル件 中改正ノ件 及昭和十四年勅令第七百号青年教育官ニ補ヤラルルキ北海道庁事務官及地方事務官ノ特別任用ニ関スル件廃止ノ件	九月二六日
五二	大東亜省官制	九月二日
五三	各省官制通則中改正ノ件	"
五四	行政簡素化実施及大東亜省設置ノ為ニスル外務省官制中改正ノ件	"
五五	行政簡素化及内外地行政一元化ノ実施ノ為ニスル内務省官制中改正ノ件	"

五六	行政簡素化及内外地行政一元化ノ実施ノ為ニスル朝鮮総督府官制中改正ノ件	九月二日
五七	行政簡素化及内外地行政一元化ノ実施ノ為ニスル台湾総督府官制中改正ノ件	"
五八	大東亜省官制及大東亜省設置ニ伴フ勅令施行ノ際ニ於ケル対滿事務局・興亜院・外務省及拓務省ノ職員ニ関スル件	九月五日訂正
五九	大東亜省調査官等特別任用令	九月二日
六〇	昭和九年勅令第三百七十八号対滿事務局及関東局ノ職員ノ特別任用等ニ関スル件外六勅令中改正ノ件	"
六一	日本国「タイ」國間文化協定御批准ノ件	二月一八日
六二	義務教育費国庫負担法中改正法律案帝國議會へ提出ノ件	一月一〇日
六三	昭和十五年勅令第四百十四号国民学校職員ノ俸給	"

及旅費ノ負担ニ関スル件改正ノ件

六四 中等学校令

二月七日

六五 大学令中改正ノ件

六六 高等学校令中改正ノ件

六七 専門学校令中改正ノ件

六八 師範教育令改正ノ件

六九 青年学校令中改正ノ件

七〇 昭和十六年勅令第一千百五十七号実業学校等ノ

特例ニ関スル件中改正ノ件

七一 陪審法ノ停止ニ関スル法律案帝國議會ニ提出ノ件 二月三日

裁判所構成法戰時特例案帝國
議會へ提出ノ件

右謹テ上奏シ恭シク
聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付
セラレムコトヲ請フ

昭和十七年一月十六日

内閣總理大臣東條英機

裁判所構成法戦時特例

第一條 戦時ニ於ケル裁判所構成法ノ特例ハ本法ノ定ムル所ニ依ル

第二條 戦時刑事特別法第五條第一項竝ニ昭和五年法律第九號第二條及第三條ノ竊盜ノ罪ニ付テハ區裁判所其ノ裁判權ヲ有ス但シ豫審ヲ經ザルモノニ限ル

第三條 左ニ掲グル訴訟ノ第一審ノ判決ニ對シテハ控訴ヲ爲スコトヲ得ズ

一 裁判所構成法第十四條第二ノ訴訟

二 民事訴訟法第六編ニ定ムル訴訟但シ同法第五百九十一條第

三項（第六百二十條第一項ノ規定ニ依リ適用スル場合ヲ含ム）、

第六百二十三條第一項及第六百四十七條第三項ノ訴訟ヲ除ク
前項ノ判決ニ對シテハ直接上告ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ訴訟ノ請求ニ附帶シテ果實、損害賠償、違約金又ハ費
用ノ請求ヲ爲シタル場合ニ於テハ前二項ノ規定ノ適用ニ付テハ
之ヲ第一項ノ訴訟ト看做ス

第四條 左ニ掲グル罪ニ付言渡シタル第一審ノ判決ニ對シテハ控
訴ヲ爲スコトヲ得ズ

一 刑法第七十四條、第七十六條、第二編第七章ノ二、第三十
六章及第三十九章、昭和五年法律第九號、戰時刑事特別法第
一章、陸軍刑法第二條ニ掲グル各條（第七十九條乃至第八十
五條及第九十九條ヲ除ク）、海軍刑法第二條ニ掲グル各條（第

七十八條乃至第八十五條及第百條ヲ除ク）、防空法、食糧管
理法並ニ言論、出版、集會、結社等臨時取締法第十七條及第
十八條ノ罪

二 國家總動員法（第四十四條ヲ除ク）、昭和十二年法律第九
十二號、外國爲替管理法、軍機保護法（第二條乃至第七條及此等
ニ關スル第十五條乃至第十七條ヲ除ク）、軍用資源祕密保護
法（第十一條乃至第十五條及第十九條ヲ除ク）、要基地帶法、
國境取締法、陸軍輸送港域軍事取締法、軍用電氣通信法、陸
軍刑法第七十九條乃至第八十五條及第九十九條、海軍刑法第
七十八條乃至第八十五條及第百條、大正十五年法律第六十號
並ニ不穩文書臨時取締法ノ罪但シ此等ノ罪ニシテ外國ト通謀

シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタルモノヲ除ク

前項ノ判決ニ對シテハ直接上告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ上告ハ第二審ノ判決ニ對シ上告ヲ爲スコトヲ得ル理由アル場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

上告裁判所ハ第二審ノ判決ニ對スル上告事件ニ關スル手續ニ依リ裁判ヲ爲スベシ

第五條 前二條ノ第一審ノ判決ニシテ區裁判所ノ爲シタルモノニ對スル上告ニ付テハ控訴院其ノ裁判權ヲ有ス

前項ノ判決ニ付區裁判所ノ爲シタル上告棄却ノ決定ニ對スル抗告ニ付亦前項ニ同ジ

控訴院ノ上告審トシテ爲シタル決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコト

ヲ得ズ

裁判所構成法第四十八條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 控訴院ガ上告裁判所タル場合ニ於テ法律ノ同一ノ點ニ付曾テ大審院又ハ上告裁判所タル控訴院ノ爲シタル判決ト相反スル意見アルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ大審院ニ移送スルコトヲ要ス

前項ノ決定アリタルトキハ訴訟ハ上告ヲ爲シタル時ヨリ大審院ニ繫屬シタルモノト看做ス

第七條 民事ニ付抗告裁判所ノ爲シタル決定ニ對シテハ更ニ抗告ヲ爲スコトヲ得ズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ本法施行前裁判所ノ受理シタル訴訟ニ付テハ之ヲ適用セズ
第二條ノ規定ハ本法施行前犯シタル昭和十六年法律第九十八號第
二條第一項ノ竊盜ノ罪ニ關スル事件ニシテ本法施行後公訴ヲ提起
スルモノニ付、第四條乃至第六條ノ規定ハ本法施行前犯シタル昭
和十六年法律第九十八號ノ罪ニ關スル事件ニシテ本法施行後公訴
ヲ提起スルモノニ付亦之ヲ適用ス

戰時終了ノ際ニ於テ必要ナル經過規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

曩ニ樞密院ニ御諮詢ヲ仰ギタル裁
判所構成法戰時特例案帝國議
會ニ提出、件中左記ノ通訂正致度

記

裁判所構成法戰時特例第四條第
一項第一號中「刑法第七十四條、第
七十六條、第二編第七章ノ二」ヲ「刑
法第二編第七章ノ二」トシ同第二號
中「國家總動員法」第四十四條ヲ除

クシ、ラ「刑法第七十四條及第七十六
條、國家總動員法（第四十四條ヲ除
クシ、レトス

會計法戰時特例案帝國議會へ
提出ノ件

右謹テ上奏シ恭シク
聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セ
ラレムコトヲ請フ

昭和十七年一月十六日

内閣總理大臣東條 英機